



げやきっ子

令和6年1月11日
六栄小学校だより
第15号

校長 下田 真壽

令和5年度スローガン 「子どもたちに寄り添う『チーム六栄』～子どもを真ん中に～」

後期後半スタート

2024年、令和6年が始まりました。

保護者・地域の皆様、今年度残りの日々も六栄小学校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、9日（火）1時間目にリモートで冬休み明け集会を行いました。集会等において、対面とリモートを臨機応変に使い分けることが当たり前になってきました。

これまで集会では頑張してほしいこと3つ【①あいさつ ②相手の目・顔を見て話を聞く ③目標を持つ】を繰り返し繰り返し話してきましたが、今回は年明け早々に起こった大地震、航空機事故から感じたことを話しました。

1 私たちも7年前に熊本地震を経験しています、今後、自分たちにもできることが何かないか考えていきたいです。

今も断水・停電が続いている中で生活している方がいらっしゃいます。私たちが節水、節電することが、被災した方々を直接助ける事にはならないかもしれませんが、そういう意識をもって生活してほしいです。

2 航空機事故で「日航機の乗客・乗員全員が無事に脱出」できたことは「奇跡」と報じられています。要因は2つあると言われています。

一つ目は日頃からの訓練が活かされたということです。六栄小でも避難訓練をしますが、今後も訓練、練習を大切にしてほしいです。

二つ目は、機長との連絡がつかない中、指示を待たずに非常口を開放したキャビンアテンダントの判断です。この決断が、全員無事脱出という奇跡の要因になりました。皆さんにも、いつそのような重大な決断の機会が訪れるか分かりません。

日頃の生活から「自分で考えて、判断して行動する」ということを続けてほしいと思います。

3 後期後半は、4月から始まる次の学年に向けての「助走の3ヶ月」だと思います。今、六栄小には一つ課題があります。それは「廊下を走る人が多い」ということです。廊下を走らないということができるよう頑張してほしいです。

子どもたちが真剣に聞いてくれたことは、画面越しにも十分伝わりました。

町消防出初式

～火を消して 不安を消して つなぐ未来～

7日（日）六栄小運動場で実施されました。「通常点検」「玉落とし競技」「分列行進」では、団員の方々の英姿を見ることができました。



左から3人目は、6年担任 新納真史 先生です。

消防団の方々への感謝を改めて感じた出初式でした。



見守り隊の皆様 寒い中ですが、後期後半も引き続きよろしくお願いいたします。

毎月17日は「ながす交通安全の日」 「ヘルメット着用（あごひも確認）」